

☆平岡中学校



平岡産の美味しいじゃがいもですよ~



地図を広げて打ち合わせです

昨年まで社会福祉協力校の指定を受けていた平岡中学校では、引き続き充実した福祉活動をおこなっています。

9月23日開催の清田笑顔のチャリティーフェスティバルには、じゃがいも・玉葱販売ボランティアとして、5名が参加。大きな声で購入を呼びかけていました。当日販売したじゃがいもは、アリアパーク平岡町内会が管理する畑で栽培したもので、たね植えから収穫まで平岡中学校の生徒がボランティアとして参加しました。益金を各地区福祉のまち推進センターに寄付するということもあって、やりがいがある、とても充実した活動となつたようです。

また、今年度から、校区の町内会・自治会の協力を得て、高齢者のお宅を生徒が除雪をする「除雪ボランティア活動」を実施しています。3町内会の4世帯を15名の生徒が10cm以上の積雪の時に除雪を実施。中学生が地域に貢献する有意義な取り組みとして期待されています。

おりかさ
折笠 花純さん（2年生）

作物の育ち方も分かっただし、いろんな人と交流が持てて良かつたです。また参加したいです。

おはら
小原 あいり 愛里さん（1年生）

除雪ボランティアは初めてです。除雪活動をとおして、お年寄りの方とたくさん交流し、できる限り役に立ちたいです。

☆清田中学校



ギターの演奏とダジャレが大人気

清田中学校では、毎年、総合的な学習の一環として、人生の先輩のお話しを聴く講演会を開催しています。

今年度は、清田区社会福祉協議会を通じ障がい者日中活動支援事業所ハローENJOY札幌（清田区真栄3条2丁目）の橋文也施設長とアシスタントの飴谷さんに「地域と福祉社会、働くことと生きがい・人生」という内容でお話していただきました。福祉のことと併せて、これから前向きに生きていこうという気持ちになる充実した講演会でした。

まつい
松井 しゅん 駿くん（3年生）

唄を歌ってみんなと一体感を持つことが福祉の要素だと感じました。福祉や生き方も学び、視野が広がりました。

☆真栄中学校



大変さが身にします

真栄中学校では、日本赤十字北海道支部の出前講座として、8月31日、総合的な学習の時間に福祉学習を実施しました。当日は、高齢者・片麻痺疑似体験のほか、視覚障がい者疑似体験や車いす体験など7つのメニューで体験学習を実施。何かひとつ失うことで、それ以外の感覚までも思うようにいかないことに気づき、改めて新鮮な気持ちで受け止めることができた体験学習となつたようでした。

あきは
秋場 たいき 大暉くん（1年生）

改めて車椅子の介護をする人は大変で難しいと思いました。利用している人は不安が多いことも実感しました。